



祝白寿



幸楽園めぐもり写真館



長 寿

106才



〈朝野トク工様〉

M41.11.15日生

当施設で生活されてから6年目になります。車イスではありませんが、皆さんと変わらない日常を過ごしております。106才のお誕生日には、ご家族様から豪華な花を贈って頂きました。おめでとうございます。

長生きして下さいね 



初笑い



福笑い上手にできるかな 



餅つき



息の合ったコンビ! ?



クリスマス会



サンタさんがやって来た㊦

小グループ外出 



アイスクリームおいしいね♡



～医務室より～

感染症とは、環境中に存在する微生物が人の体内に侵入することで引き起こす疾患です。

私たちの身の回りには、常に目に見えない多くの微生物が存在しています。感染はそれらが人間の体内に侵入し定着・増殖することで、症状が現れたり現れなかったりと、知らない間に保菌者となって感染を広げる可能性が高いため、感染経路の遮断が重要な対策の一つとなります。その一つに手洗い・うがいなど個々が予防出来る事があります。

今年は「未年」。未の瞳は丸くなく、横に長いため視野も広いとか…。未のように視野を広げ、些細な事でも見逃さないよう発症・拡大の予防に努めたいと考えております。



成人病医療センター感染管理認定看護師
佐々木 久美子氏による勉強会

笑顔😊をひきだす食事

季節感ある食材使用とメニューで、
食事を楽しんでいただきたいと思います。



クリスマス



お正月



七草粥



鶏肉と
雑煮

～食事は心の栄養～

喜び、豊かさを
生み出す力です！

幸楽園家族会の皆様から「大型加湿器」を ご寄贈いただきました。

暖房により園内が乾燥する中、感染予防のためにも湿度管理は重要です。食堂に設置させていただきました。ご家族の皆様のご協力に心より感謝いたします。



ショートステイ 幸楽園ほっと通信

新春初笑い大会

今年も沢山の“福”が来ますように！



クリスマス会

ゆかいなサンタがやってきました



おゆうぎ会

土崎幼稚園児の元気パワー！！



幸楽園居宅介護支援事業所 幸楽園在宅介護支援センター

秋田臨港警察署から高齢者の詐欺被害急増中であり注意するように通知がありました。「必ずもうかる。名義を貸して!」「携帯の番号変わった」「レターパック・ゆうパック等で金送れ」など電話でお金の話になったら詐欺だと思って、警察、ご家族、ケアマネージャー、地域包括支援センターへご相談ください。

高齢者の介護サービスや生活のご相談は Tel 018-870-2226 までお電話ください。

幸楽園訪問介護ステーション

☎018-870-2228

担当：鈴木・松山

ご利用者さまがご自宅で安心して暮らし続けられるよう、居宅サービス計画に基づいて適正なサービス提供を努めております。幸楽園ヘルパーは研修・講演会に積極的に参加し資質向上を目指し、在宅介護をサポートします。ご相談お待ちしております。

外旭川老人デイサービスセンター

今年の冬も雪が多く寒いですが、デイサービスでは外の寒さを吹き飛ばす程の活気で楽しんでいただいております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



運動会 赤も白もがんばれー！



クッキー型抜き中！早く食べたいな～



私たち綺麗？



大漁ゲームで見事1位!!今晚のおかずをゲット



初めてお茶を点てました。上手く出来たかな～



とても美味しいですわ！！



いや～なつかしいなあ～



昨年12月、資生堂の美容部員さん達がボランティアに来て下さいました。皆さん鏡に向かい真剣な表情で紅をさし、眉を整えて、10歳は若返ったようでした。

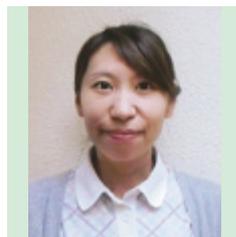
～新人職員紹介～

①宝くじで3億円当たったら？ ②好きな役者 ③自己PR



毛江田 由維 <介護職員>

- ① 3億円の内、2億円で老後南の島へ移住してセレブ生活♡あとの1億円で海外旅行。
- ② 渡部篤郎さん
- ③ これからも元気に笑顔で頑張ります。よろしくお願い致します。



黒木 美里 <看護師>

- ① ローンの全額返済！毎週美味しいお酒とごはん。週3回勤務と旅行・ミュージカル。
- ② 西島秀俊さん 安田顕さん
- ③ 私生活は自由な感じですが、マジメに働いています。よろしくお願い致します。

幸楽園周辺の歴史散歩

⑧

新城川河口の大湊「穀丁」

一 若狭まで百五十里

この度は新城川河口の「穀丁」を取り上げる。新城山地に端を発した新城川は、秋田市北部を流下すること十九キロで、現在の秋田北港に注ぐ。室町時代の末期には、港は雄物川と新城川の出口にあたる穀丁にあって、日本海航路の七大港の一つにあげられていた。

航路は若狭の「小湊」から、秋田の「穀丁湊」までおよそ百四十五里で、一航海に約二カ月を要したと言う。船は北前船と呼ばれ、七百から千石積みの帆船が、水夫十四人程で北陸、松前の間を運航していた。

二 板子一枚、下は地獄

古くの北国船は、筵織りの小さな帆で、風がなければ人夫が櫓を漕ぐもどかしさだった。その後、綿の帆布が使われはじめ、三十五反の帆を張りあげて快走するようになる。だがいったん海が荒れると、神仏に頼るしかない。水夫たちは鬻を切って海神に捧げ、それでもなお危険となれば一人の生贄を波に投じて命運を懇願した。こんな時代に栄えた湊が、米穀を扱う町、穀丁だった。他に蒼龍寺の棟札には、「穀津」の名もあった。

安東氏が「湊城」を築いた二五九八年頃、新城山地から大量の木材が切り出され、原木は新城川を下って穀丁で揚げられ、板や角材にされて大豆や米と一緒に船積みされた。移出は主に以上の品目だが、運び込まれたのは多彩だ。鯉節五千本、鉄砲三百丁、畳表五百枚、壺四個、お茶。これがある日の荷揚げとして記帳されている。

三 穀丁の泥鰯祭り

当時、穀丁湊を訪れた、ヤソ協会の宣教師ルイス・フロイスの手紙に、「ゲワのアキタの湊、エゾ人来訪し交易盛んなり」とある。秋田の海の玄関として穀丁湊は殷賑を極めた。笹岡の満船寺、出戸の東福寺(当福寺)、西船寺などが転入して寺町を形成した。

また、五十丁から移転させた日吉神社には、京都から御神輿を二基奉納し、五月二十六日のお祭りとなれば、穀丁から鼠田まで勇壮華麗に練り歩いたと言う。なおこの祭典には「泥鰯祭り」の異名もある。

(永田 賢之助)



ホームページ開設しました。

昨年十月より、ホームページにて

- ・各施設のご案内
- ・トピックス
- ・施設見学のご案内
- ・入所申込書のダウンロード
- ・利用料金
- ・職員募集 等

ご覧頂く事が出来るようになりました。随時更新しますので、是非検索してみてください。



<http://www.kourakukai.or.jp>

検索

出産

雨宮 由佳さん

長女 瑠音ちゃん

平成二十六年八月十九日生

おめでとうございます



編集後記



秋田市内は穏やかな年明けとなりましたが、内陸の雪の多さには驚かされます。雪の事故、そして今年には火災による死亡事故も多発しているようです。くれぐれもご注意ください、一年健康で過ごせますように！